

大成  
功

## 広がる NO!盗聴法 の声

第一次署名提出へ向けて手応え大きく

1.29 有楽町マリオン前  
街頭署名行動

1月29日、東京・有楽町で署名街頭行動を賑やかに行いました。買い物客が多く、道行く人々も足早でしたが、若干2時間の間に150名近い署名が集まりました。

午後1時、東京・有楽町マリオン前には、署名実行委員会のメンバー約40名が集いました。

アピールでは、まず、共産党の緒方靖夫参院議員が発言。「神奈川県警不祥事事件など、様々な問題を抱える警察に、盗聴という武器を与えたらどんな事になるか」「この国会での自自公政権の暴挙は、元をただせば盗聴法の強行採決にたどり着く」と訴えました。

忙しい中、駆けつけて頂いた作家の宮崎学さんは『『自自公』という漠然とした追及では弱い。盗聴法の成立に中心になって動いた個々人の議員にターゲットを絞り込んで、次の総選挙で落とす努力をすべき』と力強く話されました。

また、実行委員会からは海渡雄一弁護士が「DVD-RAMを使った盗聴システムで、映画『エネミー・オブ・アメリカ』の世界が日本でも現実になろうとしている。市民生活の危機だ」と訴えました。

法律の成立から、もう半年。しかし、自ら進んで署名する人も多く見られ、盗聴法の問題が広く市民に浸

透していることが改めて感じられました。2月23日には、いよいよ第一次署名提出が行われます。この手応えをバネに、実行委員会ではさらに運動を広げていきたいと考えています。

総選挙も近いと噂される昨今、自自公暴走の発端でもある盗聴法が、今後大きな争点のひとつとなるのは間違いないでしょう。

(日本消費者連盟・吉村)

## 第一次署名提出

2月23日(水)13時から

衆議院第二議員会館第一会議室

・内容

野党各会派国会議員への署名提出  
セレモニーなど

シンボルマークやパネルなどで賑やかにアピール/上

忙しく行き過ぎる買い物客の中自ら進んで署名に協力する人も多く見られた/左



# 盗聴法廃止 署名実行委員会 ニュース

vol.2 (2000.2.23)

■盗聴法の廃止を求める署名実行委員会  
日本消費者連盟

〒152-0002 東京都目黒区目黒本町 1-10-16

☎ 03-3711-7766 FAX03-3715-9378

日本基督教団社会委員会

☎ 03-3202-0544 FAX03-3207-3918

日本国民救援会中央本部

☎ 03-3436-0005 FAX03-3436-0139

東京共同法律事務所(海渡)

☎ 03-3341-3133 FAX03-3355-0445

ネットワーク反監視プロジェクト

E-mail priv-ec@jca.apc.org

イラスト/荒屋"アヤシ"孝良 編集/吉村英二